

『新しい時代を生きる子供たちを育てるために』

龍ヶ崎市立長山中学校長 宮本 浩貴

令和7年度は、桜が満開の中で始業式や入学式が行われ、子供たち・保護者の皆様・地域の方々・教職員の笑顔があふれ、誰もが喜びを感じるスタートであったと思います。新しい時代を生きる子供たちを育てるための新たな発想や計画のもと、本校の教育がいよいよ動き出しました。

4月のスタートにあたり、今年度の学校経営の重点についてお話しいたします。

1 授業を核とした学校づくり ～「教え」から「学び」への転換～

今年度は、科学・技術・工学・アート、数学の5つの分野を融合しながら、問題解決力や創造性を伸ばす「STEAM教育」と「英語教育」を推進させ、一人一人の子供を主語とした学びへの転換を図っていきます。1人1台端末等を効果的に活用した豊かな学びの展開を軸とした授業改善をさらに進めていきます。学力向上のためには、子供たち自らが自己選択・自己決定し、よりよい学びを求めていくような授業を展開していかなければならないと考えています。

そのためにも、本校の「学びの約束」である①わからないときは、友達や先生に「教えて」と聴きましょう。②「教えて」と言われたら、わかるまで教えてあげましょう。③「教えてもらったら」感謝の気持ちを伝えましょう。の実践を通して、「協働的な学習」「個別最適な学習」を充実させていきます。

2 居心地のよい学年・学級づくり ～「任せて」「待って」「支えて」「認める」～

学力向上の基盤は学級経営にあり、子供たち一人一人に居場所がある学級づくりが重要になります。道徳の時間や学級活動等による話し合いを形骸化させることなく、よりよい集団づくりと人間関係づくりを推進していきます。改めて、教職員が、授業づくりや学級経営に対する意識を変え、「任せて」「待って」「支えて」「認める」といったコーチングの考え方に立ち、子供たちが自走・自立できるよう伴走しながら支援していきます。

学校にとって子供たちは財産です。私たち教職員一同は、全ての子供たちが活躍できる「魅力ある学校」をつくり、責任と情熱をもって指導・支援に専念していきます。保護者の皆様のご理解とご支援・ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。